

プレスリリース

水産業のグローバル・リーダーが海洋管理のための行動を本格化

軽井沢（日本）発 - 軽井沢町で行われた会議を経て、世界最大手級の水産企業10社が、水産業界におけるサステナブルな事業活動を強化するため努力を本格化させると発表しました。

世界最大手級の水産企業10社で行われたダイアログは9月4日、各社のグローバルな事業およびサプライチェーンにおいてサステナブルな事業活動の推進に取り組むことを確認して終了しました。ストックホルム・レジリエンス・センターが旗振り役となり、アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸に展開する企業が対話するキーストーン・ダイアログは今回が第3回目であり、日本の軽井沢が会議の場となりました。会員企業は海洋管理においてリーダーシップを発揮するため、海洋管理のための水産事業（SeaBOS）イニシアチブで協力し合っています。

SeaBOSの設立趣意に則り、会議ではIUU（違法・無報告・無規制）漁業および現代の奴隷制（強制労働）をはじめとした海洋の健全性と水産物のサステナビリティに影響する重要事項に対応することで合意に至りました。SeaBOSの会員企業はトレーサビリティの最新テクノロジーを自社のグローバルなサプライチェーンで試験利用しており、既存のグローバル基準を改善するため、今後は現在発展中のGDST（グローバル・ダイアログ・オン・シーフード・トレーサビリティ）に積極的に関与します。会員企業は全社とも透明性のある報告をすることを誓い、海洋管理を進めるため世界の海洋政策と規制の改善に主導的役割を果たすことを目指します。

今回のダイアログで、SeaBOSの組織が正式に成立しました。世界最大の水産会社であるマルハニチロ株式会社代表取締役社長の伊藤滋氏がSeaBOSイニシアチブの初代会長に指名され、ニュートレコ社の現CEOであるクヌート・ネッセ氏が2019年1月1日付けでSeaBOSのマネージング・ディレクターとなります。

伊藤氏は「SeaBOSは戦略的ビジョンのある企業のグローバルな連合体であり、海洋管理の課題解決に積極的に貢献します。私はこのイニシアチブが大きな成功をおさめ、グローバルな責任を果たすことができるよう努力します。」と述べました。

またクヌート・ネッセ氏は「海洋は待つてはくれません。私たちは変革をもたらす責任があります。この組織は2016年に立ち上がったばかりですが、これでしっかりと資金ぐりと組織としての基礎が確立しました。私はSeaBOSのディレクターとしての新たな役割を喜んで引き受けたいと思います。」と述べました。

スウェーデンのヴィクトリア皇太子殿下は、SDGs（国連の持続可能な開発目標）のグローバル・アドボケイト（提唱者）として、キーストーン・ダイアログの3回の会議すべてに参加されました。またこの取り組みはストックホルム大学のストックホルム・レジリエンス・センターから科学的知見の支援を得ています。これら重要な支援を得て、また新たな組織が確立し、SeaBOSは海洋管理の行動を本格化させる準備が整いました。

背景

SeaBOS イニシアチブの目標は、利用可能な最高の科学に基づき、海洋管理のための産業界のリーダーシップを刺激することです。グローバルな水産業界のキーストーン・アクターは、ストックホルム大学のストックホルム・レジリエンス・センター（SRC）が王立科学アカデミーとの協力で科学に基づいて特定し、2015年に発表しました。SeaBOSはこの特定されたキーストーン・アクターから生まれました。SRCは2016年以來SeaBOSの活動をコーディネートし、世話役をしてきましたが、この役割を企業側に引き継ごうとしています。SRCはWalton Family Foundation（ウォールトンファミリー財団）、David and Lucile Packard Foundation（デイヴィッド&ルシール・パッカード財団）、Gordon and Betty Moore Foundation（ゴードン・アンド・ベティ・ムーア財団）の資金提供により、今後もこのイニシアチブの主要科学パートナーとして協力します。海洋管理のための10の取組みを含むSeaBOSの設立趣意書はwww.keystonedialogues.earthで参照ください。

第3回キーストーン・ダイアログではマルハニチロ株式会社、日本水産株式会社、株式会社極洋、および三菱商事株式会社が在日スウェーデン大使館のサポートを得てホストを務めました。今回のダイアログは漁業と養殖でグローバルに展開しているSeaBOSの会員10社から10人のCEOおよびその他の参加がありました。SeaBOS会員10社はマルハニチロ株式会社、日本水産株式会社、タイ・ユニオン・グループPCL、マリーン・ハーヴェストASA、ドンウォン・インダストリーズ（東遠産業）、セルマック（三菱商事株式会社の子会社）、カーギル・アクア・ニュートリション、スクレッティング（ニュートレコ社の子会社）、CPフーズ、株式会社極洋です。第4回キーストーン・ダイアログは2019年にタイで開催され、CPフーズとタイ・ユニオンがホストを務める予定となりました。

メディア問い合わせ先：owen.gaffney@su.se

Stockholm Resilience Centre
Research for Governance of Social-Ecological Systems



Stockholm
University